



竹原 亜生

質問1 指定廃棄物等の集約・暫定保管は

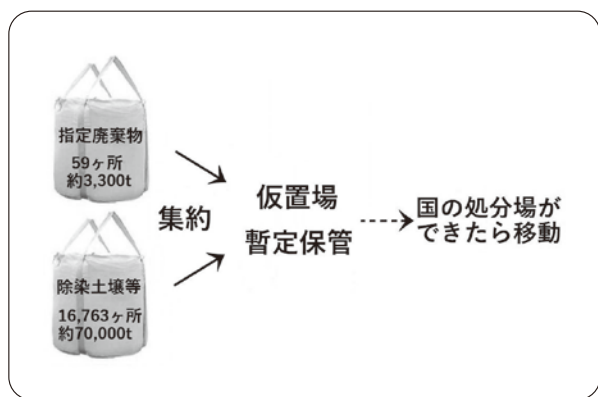
町 早急に進める

問 福島原発事故により発生した畜産系指定廃棄物が農家に置かれている。畜産系指定廃棄物を仮置き場に集約し、暫定保管することを考えているか。

答 指定廃棄物の保管が長期化しており、仮置き場への集約の検討を進める。

問 農家の皆さんは指定廃棄物の保管を強いられている。農家の皆さんの精神的苦痛を取り除くことができるのは町長の決断しかない。町長の考えは。

答 保管が長期化しており、町民にもかなりの負担等があると思う。早い段階で仮置き場等への集約を進める。また、近隣市町とも連携を取り、進めていく。



指定廃棄物・除染土壌等の集約・暫定保管

問 個人宅に置かれている除染土壌や除染廃棄物を仮置き場に集約し、暫定保管することを考えているか。

答 町民の皆様のお安全安心と負担軽減の観点からも、早急に仮置き場を確保して、除去土壌等を集約していく。

質問4

新町政の財政健全化への取組は

町 持続性、安定性のもとに財源を確保する

問 財政健全化の取り組みは。

答 事務事業を再検討し、持続性、安定性の視点のもとに財源を確保していく。

問 行財政改革推進プラン2016は31億円収支を悪化させる計画であるが、更なる財政改善をするのか。

答 町長の財政健全化の公約は、町民の声であり、再構築する。

問 公共施設投資の見直しは。

答 現在計画中の案件は、精査し、見直しをする。既存の公共施設は、個別施設の再編整備計画を策定し、適正な維持管理に取り組む。

問 補助金や委託費の見直しは。

答 補助金は、ガイドラインを策

問 新しい施策など職員による事前評価は

答 新しい施策、主要事業、全てヒアリングを実施する。事前評価制度も検討する。

健全財政と重要事業の見直し

- ▶ 田中小の跡地設備の見直し
- ▶ 友愛の森再設備事業の見直し
- ▶ 町有財産の有効活用
- ▶ イベント及び委託事業の見直しの徹底
- ▶ 歳出の精査

平山町長公約

財政健全化公約